



熱海市 平成25年度 予算・施策について

1. 明治、昭和に続く「第三の成長期」の実現を目指し、『新生(リニューアル)・熱海』をさらに前進。
2. 三大建設プロジェクトほかの完成。
3. 「営業する市役所」として、シティプロモーション、民間投資の促進、人口増加策を推進。
4. 「質の行政改革」により、政策の成果、市民満足度を向上。

- ①安全で、利用しやすい新庁舎 H25 14億3千万円 (総事業費見込み 26億2千万円)
- ②熱海駅前広場の整備 H25 1億4千万円 ③新生熱海中学校校舎改築 H25 12億6千万円
- ④ジャカラダ遊歩道 ⑤中央保育園
- ⑥シティプロモーション(メディア広報):計128万円 ⑦投資促進、パートナーシップ:計230万円

一般会計予算 196.1億円(対前年度20.7億円増、11.8%増) :9年ぶりに190億円超
歳出:普通建設事業費 39.5億円(同18.8億円増、90.8%増)、人件費、公債費は減
歳入:市債30.7億円(同14.6億円増)、市税は減、基金(財政、庁舎ほか)6.5億円取り崩し

元気な経済

観光まちづくりの基盤整備を進めつつ、効果を高めるために事業、施設等を見直し。インフラの維持修繕にも配慮。

(1)観光施策の運用改善等

(基盤)

- ①プラットフォーム構築連携事業補助金(観光協会の一体化等)7,000千円
- ②振興公社との一体化を念頭においた組織案の検討
- ③観光まちづくり事業費補助金(10+2件) 1,600千円

(誘客対策)

- ①テレビ・ラジオ等宣伝経費 20,001千円
*15,000千円×3年で委託先を提案公募(債務負担)し、運用改善
*季節毎の統一テーマ等を設定した官民連携しての宣伝・広報
- ②春季誘客花火大会開催補助金 2,500千円
- ③海岸沿いの市営駐車場の一部無償化実証実験

(温泉利活用)

- ①熱海養生法推進事業(温泉と健康の情報発信、温泉の歴史や文化の継承) 2,500千円 *内容見直し
- ②低温度差発電モデル事業 500千円

(2)地域活性化に向けた基盤の整備

- ①初島漁港護岸埋立 110,737千円 *H24で前倒し
- ②網代魚市場改修整備事業 7,000千円 *市場の規模を半分縮小
- ③仲見世通り線舗装補修工事 20,000千円
- ④さくらの名所散策路実設計 5,400千円 *JR協議を開始

(3)観光経済その他

- ①マリンスパあたま *管理料+赤字=年約70,000千円
H25上半期 直営 支出101,000千円 収入72,000千円(差引29,000千円)
下半期 休止 提案修繕20,000千円+α(見込9月補正予定)
H26年度~ 新管理者で運営(H25.4月公募、9月指定管理議案)
- ②湯~遊~バス 24,161千円
*H25に運営見直しを検討 *H23は27千人、27,000千円
- ③小山臨海公園指定管理 23,000千円
- ④誘客スポーツ(新マラソン大会の検証、モデルコース等)1,500千円
- ⑤熱海市チャレンジ応援センター(A-biz) 2,028千円

(4)建設その他

- ①道路、橋梁及び水路等の維持補修工事費 130,000千円
- ②橋梁長寿命化 6,904千円 *26橋の計画策定、80橋の簡易調査

豊かな暮らし

市民の健康増進施策の充実に着手。高齢者福祉、子育て支援の充実とともに市民生活の基盤施設を修繕。

(1)健康づくり *40~65歳の1,000人あたりの死亡率5.8(県最下位)

- ①子宮がん検診助成金 1,000千円 *受診率 市10.6% 県29.8%
- ②う歯予防推進事業(フッ素洗口) 1,044千円 *600人
- ③国保税率の平均8%改正、一般会計からの赤字繰り出し117,009千円

(2)高齢者福祉 *平均自立期間 男16年(県最下位)

- ①健康チャレンジ(ポイント付与による健康づくり活動への参加促進)1,100千円
- ②健康と福祉出張相談会の開催 50千円
- ③運転免許証自主返納の促進(130名)130千円

(3)子育て支援・教育 *合計特殊出生率1.14%(県最下位)

- ①H25年度 子育て支援、幼保一元化等の検討、担当理事の配置
- ②中央保育園園庭用地詳細設計6,000千円 *設計後、建設費計上
- ③子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査等 2,500千円
- ④ことばの教室 5,704千円 *指導教諭増員で待機児童12名を解消
- ⑤離島高校生修学支援 2,640千円

(4)市民生活の基盤施設の修繕

- ①し尿処理施設基本構想検討等 6,300千円 *H30供用開始が目標
- ②ごみ焼却施設オーバーホール 131,675千円 *2炉での交代運転
- ③セトモノ、蛍光灯のリサイクル 10,139千円 *22年程度の延命化
- ④LED防犯灯購入費(200個) 2,000千円

(5)安全・安心の確保(消防・防災)

- ①迅速な出動体制の確立 高機能消防指令センター 100,000千円
- ②高規格救急自動車 31,000千円 *年間3千件超出動
- ③第6分団消防ポンプ車 14,500千円
- ④防災行政無線共同整備(デジタル化) 負担金 50,980千円
- ⑤津波避難誘導標識2,000千円 *30箇所 H24と合わせ70程度
- ⑥FUJISAN気象伝達ルート整備(衛星携帯等) 2,605千円

(6)その他

- ①伊豆山地区振興施策の検討(防災・観光等の観点からの伊豆山出張所跡地その他の振興策の検討) 1,200千円
- ②旧日向別邸や石丁場遺跡等の文化財の保護 1,353千円
- ③新図書館構想「歴史に学び未来を築く市民の図書館」

行政改革

政策の成果や市民満足度等を重視した「質の行政改革」に重点。行政経営指針に基づく行政運営の改善。

(1)職員・組織

- ①大規模な組織の再編(管理局の統合、市民・福祉部門の人員の確保、政策課題への対応) 502名(H18対比20%減)
- ②職員給与費の構造見直し 給与費29億8千万円(同上28.4%減)
- ③人事院勧告を踏まえた退職手当の引き下げ(H27年度までに累計1億7千万円抑制)、国の要請に基づく給与費についての総合的検討
- ④人材育成ビジョンの策定(意欲と能力の向上)

(2)政策づくりの仕組みの継承、強化

- ①行政評価のための基準づくりの検討
- ②各部の政策課題検討のための講師等の謝礼 620千円
- ③横断的課題の市政調査等委託 1,000千円(例、公民連携等)
- ④法務文書室の設置、政策法務の強化(例、空き家条例等)

(3)税務行政

- ①市税の収納率の向上(債権回収室の設置、県職員の短期派遣受け入れ、特別徴収の指定、差押強化、適切な債権管理、等)
*H24予算84.0% → H25予算86.1%
- ②コンビニ収納の取り扱い開始(税、料金等) 3,693千円
- ③本鑑定評価業務委託(287地点、H27評価替え) 18,501千円

(4)その他

- ①公益認定後の熱海市振興公社の改革(再掲)
- ②静岡県共同電子入札システム負担金 1,044千円

公営企業

- ①水道:老朽施設の改修(H25老朽管延長148km、約37%)
漏水等の把握に向けた調査 10,000千円(有収率73.1%)
県に対する水需要の調査・提示(駿水水道関係)
- ②下水道:下水道基本計画の見直し 20,500千円
実質資金不足額 16億8千万円
- ③温泉:老朽施設の改修(H25老朽管延長13km、約22%)